

令和4年3月卒業生

宮城第一信用金庫 支店勤務

私の代は秋に9人の部員でスタートし、一人もけがができないという状況からスタートしました。この状況に負けたくないと考え、主将として今できることを大切にして、秋の県大会でベスト16入りできたことは大きな自信になりました。社会に貢献できる仕事と野球を継続したいという進路希望から第一信金の練習に参加させて頂き、進路達成に結びつけることができました。高校で日々やってきたことを自信として、仕事を第一として、野球でも貢献できるよう頑張ります。

【令和4年度進路資料より 一部抜粋】

令和3年3月卒業生

北海道教育大学旭川校 教員養成課程教育発達専攻

私は主将を務めており、本格的に勉強を始めたのは後輩の新人大会を見届けた9月頃からでした。受験勉強で苦労したのは問題傾向をつかむことと時間の管理でしたが、徐々に初見の問題でも対応力を身につけることができました。硬式野球部の活動の中で目の前の状況の大事な部分を的確にピックアップして自分の表現にすることを常に行っていたことが試験結果に大きく影響しましたし、2次試験では強みになりました。

【令和3年度学校パンフレットより 一部抜粋】

令和2年3月卒業生

東北学院大学 経済学部 共生社会経済学科

入学当初、私は将来についてきちんとした見通しを立てていませんでした。しかし、硬式野球部での3年間で、逆算して行動することや日々努力することの大切さを学びました。週末毎に県外の強豪私学と言われる学校との練習試合の中から、意識の高さや準備の大切さを肌で感じ、逃げずにチャレンジすることが最も重要であることを見だし、受験にチャレンジした結果、現在の進路先にたどり着きました。

【令和2年度学校パンフレットより 一部抜粋】

平成31年3月卒業生

創価大学 法学部 法律学科

私はずっと全国を代表する強豪である創価大学の野球部で活動したいと考えていました。先生に相談したところ2年生の2月に練習に参加させて頂ける機会を得て、8月のセレクションにも参加しました。法学部の入学を決めたのちに野球部の入部も許可され、寮での生活をスタートし恵まれた環境で思い切り野球ができる環境を手に入れました。周囲はほとんどが甲子園出場を果たした選手ですが負けずに頑張ります。

【2022年度同校野球部主務として活動】